

岐阜赤十字病院 救護班 第3班 活動の概略

1 救護活動期間 平成23年3月27日(日)～3月31日(木)

2 救護班の構成

①医師(班長)	松下
②看護師長(副班長)	小柳
③看護師	青木
④助産師	藤田
⑤薬剤師	高木
⑥主事	清水
⑦連絡調整員	武藤

3 タイムスケジュール

3月27日 8:30 岐阜赤十字病院を出発
20:30 JA山形研修施設(前泊)
3月28日 12:30 岩手県陸前高田市第一中学校到着
13:00 福井日赤救護班から引継ぎ、以後救護所従事
20:00 診療終了、ブリーフィング後、日赤現地本部(遠野市)へ
21:00 本部到着、報告後就寝
3月29日 6:30 本部出発
8:00 岩手県陸前高田市第一中学校内救護所にて従事
20:00 診療終了、ブリーフィング後、日赤現地本部(遠野市)へ
3月30日 6:30 本部出発
8:00 岩手県陸前高田市第一中学校内救護所にて従事
13:00 福井日赤救護班へ引継ぎ
14:00 新潟へ出発
20:30 新潟着 ホテルにて宿泊
3月31日 9:00 新潟発
17:20 岐阜赤十字病院着 救護業務完了報告

4 主な活動内容 平成23年3月28日(月)13:00～3月30日(水)13:00の期間において、岩手県陸前高田市第一中学校(避難所)内赤十字救護所での診療活動に従事。約170名の患者の診療を行った。

5 救護活動の感想 第3班ということもあり、前班での活動データやタイムスケジュール等、事前に情報が得られ、時間的・装備的にも比較的恵まれた状況で行う事ができた。被災地は、津波の被害が谷づたいに山をぬって奥まで達しており、まさかここまで津波がくるとは予想がつかないだろうなと思われ、改めて尋常な災害ではないと痛感した。避難所意外と殺気だったような場面は見受けらず比較的落ち着いており、慢性疾患の患者さんや時期なのか花粉症の患者さんもあった。避難生活が長期化する見通しとなり、今後はこころのケアが必要であると思われました。